

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2006～2010

課題番号：19530133

研究課題名 (和文) 分裂国家のナショナリズム比較研究

研究課題名 (英文) A Comparative Study on Nationalism of Divided Nations

研究代表者

金栄鎬 (KIM YEONGHO)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号：20382369

研究代表者の専門分野：政治学・国際関係・現代韓国朝鮮研究

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：分裂国家 (分断国家)、国際関係、ナショナリズム、韓国、台湾

1. 研究計画の概要

南北朝鮮関係と台湾海峡兩岸関係という二つの分断・分裂国家を事例に東アジアの分断・分裂国家のナショナリズムを比較研究する。

冷戦の前方に置かれ、分裂国家でありつつ、権威主義体制を経験し、経済発展と民主化を実現した台湾と韓国は、国際的・国内的な環境要因を共有する一方、ナショナリズムの機能と変容において興味深い共通点と差異が見出せる。

分裂国家のナショナリズムが、当該国家間や周辺諸国との関係においてどのような行動要因となっているのか、また、内政の変化との相互作用の中で分裂国家のナショナリズムがどのように変化するのかを明らかにする。

2. 研究の進捗状況

19 年度には、分断国家としての韓国の対外政策の変化を、東北アジアのいくつかの 3 国間関係 (トライアングル) というエリアにおいて、日本の対外政策の変化との比較という視点から考察した。そこでは本研究課題について主要には論究してはいないが、台湾海峡兩岸関係と南北朝鮮関係の変化の異同と対外関係の差異について提示した。これは、東アジアの多国間関係において分断・分裂国家関係の力学が対外政策の変化にどのように反映するのかを説明する今後の研究と議論の一部と位置づけられる。

20 年度には、韓国の対外行動に関して、東アジアの地域協力という視点から日韓関係のエリアに即して考察した。この作業と並行して、韓国と台湾の内政と対外行動を比較考

察する視点を設定しながら、資料の収集と分析を行った。その結果、韓国と台湾の国家分裂過程とそこに作用した影響力の差異、および分裂国家体との関係の基本構造上の差異に関する仮説を導き出した。

21 年度には、南北朝鮮関係と台湾海峡兩岸関係の何がどのように異なり、その変化の方向がどのように異なるのかという問題設定から、とりわけ冷戦後の対照的な展開過程を追跡しその要因を導き出した。具体的には、南北朝鮮関係と台湾海峡兩岸関係は、ともに正統性対立ゆえに相互関係はもちろん主要な対外関係でも排他的な対立と競争が支配してきたが、他方では、南北朝鮮関係の対称性に対して台湾海峡兩岸関係は非対称性に特徴づけられ、そのことが冷戦終結を挟んで二つの相互関係と対外関係の変化の差異を生み出したという論旨である。韓国と台湾の比較研究は政治学や経済学でも豊富にあるが、分断・分裂国家関係に着目したものは多くはなく、また、数少ない先行研究は国際体系要因を重視したものと、内政要因 (アイデンティティなど) を重視したものに大きく類別される中で、本研究は分断・分裂国家の相互関係という中間レベルの要因を重視した点に特徴がある。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

台湾研究、中国研究の動向を把握するための準備に予想以上に時間がかかったため。また、私的事情によりまとまった海外調査の機会を確保できなかったため。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 韓国と台湾のアイデンティティ調査、選挙調査の資料を使って、分断・分裂体認識、対外関係認識の差異を統計的手法を含めて明らかにする。

(2) 政治体制、支配イデオロギー、対抗イデオロギー、政党構造に着目し、アイデンティティの差異が発生する歴史的な過程と要因を考察する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 金榮鎬、南北朝鮮関係と中国・台湾関係－分断・分裂国家関係の比較考察－、広島国際研究、第 15 巻、1-20 頁、2009 年、査読有、<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/4974>
- ② 金榮鎬、東北アジアのトライアングルにおける日韓の対外政策、広島国際研究、第 13 巻、25-38 頁、2007 年、査読有、<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/954>

[学会発表] (計 2 件)

- ① 金榮鎬、日韓の対外感情、韓国学研究会、2008 年 7 月 25 日、広島大学東千田キャンパス 205 号室
- ② 金榮鎬、韓国における政権交代と南北関係、国際高麗学会日本支部 2008 年度学術大会、2008 年 5 月 25 日、立命館大学朱雀キャンパス

[図書] (計 2 件)

- ① 金榮鎬、彩流社、日韓関係と韓国の対日行動－国家の正統性と社会の「記憶」－、2008 年、350 頁
- ② 金榮鎬、彩流社、現代アジアの変化と連続性 (共著)、2008 年、69-99 頁